



編集・発行 三鷹市教育委員会 東京都三鷹市下連雀 9-11-7

MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から2面 / 「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹」「三鷹教育フォーラム2021」を開催しました / 移動図書館の巡回 / 学園長に聞く!(鷹南学園) ほか

三鷹市教育委員会 ☎0422-45-1151

総務課(3213)・学務課(3233)・指導課(3242)・教育政策推進室(3221)・
図書館 0422-43-9151 ()内は内線番号

令和4年 2022.1.16

子どもたちのもっと知りたい!を引き出す 授業づくりへの取り組み

市立小・中学校では、平成29年に改訂された学習指導要領のポイントの1つである「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、子どもたちの「生きる力」を育むため、「何を学ぶか」だけではなく、「どのように学ぶか」を重視した授業改善に取り組んでいます。

⇒指導課☎内線3246

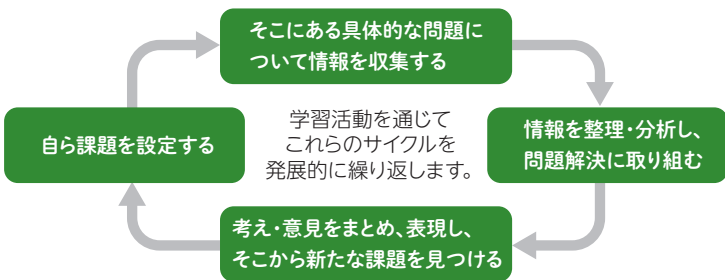
新しい授業づくりへの挑戦



変化の激しい現代社会において、子どもたちが自らの幸せな人生を切り拓いていくためには、自分が何をやりたいか、一人ひとりの興味・関心への気付きをもたらす、自発的な学習へと導いていくことが重要です。そこで、市立小・中学校では、子どもたちの「どうして?」「もっと知りたい!」といった気持ちを引き出し、自ら進んで学ぶ姿勢を重視する「探究的な学び」の視点を取り入れた新しい授業づくりに取り組んでいます。これまでの学校教育で行われてきた「能力開発」から、子どもたちの探究心を育てる「興味開発」にも力点を置いた授業づくりに挑戦し、子どもたちの学びをより深めていくことを目指します。



探究的な学びとは?



教員による授業研究

子どもたちの探究心を育てる授業を行うため、市内で興味開発型の教室を展開する「探究学舎」(宝槻泰伸代表)の協力を得て、希望する市立小・中学校の教員の自己研鑽の一環として、授業づくりの研修を実施しています。研修では、探究学舎の「子どもたちの探究心に火がつく授業」のエッセンスを取り入れ、「教材研究」「子どもの心の惹きつけ方」「話し方」「授業構成」などを具体的に学び、日ごろの授業に生かしていきます。



子どもたちを交えた研修の様子

今後「探究的な学び」をすべての子どもたちに届けていきます

教育長の再任

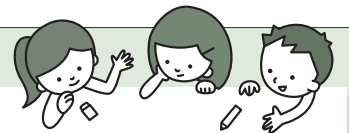


令和3年10月1日付けで三鷹市教育委員会教育長に再任されました。任期は令和6年9月30日までの3年間です。
【略歴】平成11年4月から平成16年9月まで三鷹市立第四小学校長を務めた後、平成27年9月まで三鷹市教育委員会教育長、委員長を務める。令和元年7月に教育長に再度就任。そのほか、内閣官房教育再生実行会議有識者委員、文部科学省参与、同省初等中等教育局視学委員、福島県復興教育アドバイザー、全国コミュニティ・スクール連絡協議会会長、日本連合教育会顧問などを務める。

教育委員会 教育長
かいのせ げい しのぶ しのぶ

探究カンファレンス in 三鷹の開催

市立小・中学校の教員による授業研究の成果を発表する場として、令和4年1月29日(土)に「探究カンファレンス in 三鷹」を開催します。子どもたちや参加者の皆様に授業を体験していただき、授業の感想や、より楽しくなる授業の進め方について話し合いをします。子どもたちの興味を引き出す渾身の授業を準備していますので、ぜひご参加ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により、延期することがあります。



日時 1月29日(土)
午前9時～午後1時15分
会場 三鷹市立第三小学校
申込方法 市ホームページからお申し込みください。(先着120人)
申込期間 1月17日(月)～24日(月)



教育委員会 委員
さくらい まさはる 正治

「コロナ禍の三鷹の教育について」

令和元年10月に三鷹市教育委員会委員に任命された2年が経過しました。その間、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って3か月の臨時休校、分散登校など、経験したことのない学校生活を見ることになりました。このような変則的な教育活動によって子どもたちの教育に遅れが生じることが懸念されましたが、それだけでなく心や身体の健康を害している子どもたちも多くいることが報道されました。外遊びや部活動の制限など身体を動かす機会の減少により体力低下が見られ、不安感などを原因とした睡眠不足による生活リズムの乱れも問題視されました。教育委員会学校訪問で各小学校・中学校を訪れると、教職員、学校関係者のご努力により、子どもたちは新しい学校生活様式のルールを守り、きちんとした教育を受けていることが理解できました。密閉、密集、密接を避けることに加え、子どもたちはマスク着用、手洗い、咳エチケット、換気といった感染対策の重要性をしっかりと理解し、自分を守ることに、まわりの人を思いやることにつながっているように思います。

三鷹のこれからの教育を考える研究会の最終報告が令和3年8月に出されました。その中で多くの提言がされていますが、変化の激しい予測困難な時代であるからこそ、変化に受け身で対処するのではなく、子どもたちが、自らの人生とより良い社会を創り出していくための力として「人間力」と「社会力」を主体的に発揮できるよう育成することが重要であるとしています。新型コロナウイルス感染症拡大により生活の制限を受けるなど大変な状況ではありますが、教育活動を見直し、今まで気が付かなかったことを再認識したりする成果もあつたと考えます。ここに至り感染者数の減少によって普段通りの教育活動に向けて光が見えてきたかと思いましたが、オミクロン株の出現により再び収束の見通しが立たなくなっています。この状況がいつまで続くかわかりませんが、医療人としても健康管理や生活習慣を子どもたち自身に付けられるよう見守り、子どもたちの健全な成長を支えていきたいと考えています。

11/6 オンライン開催 「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹」 「三鷹教育フォーラム2021」を開催しました

第1部の全体会では、貝ノ瀬教育長から、三鷹のこれからの教育において、個人と社会のウェルビーイングの実現を目指すことや、時間帯に応じて学校の機能転換を図る「学校3部制」の構想などを紹介しました。そして、これらを推進するために、学校や子どもたちを「縁」としたつながりである「スクール・コミュニティ」の創造が重要であることを全国に発信しました。東京大学教授・慶應義塾大学教授の鈴木寛氏からは、予測困難な時代に求められる人材育成についてのお話や、全国に広がってきたコミュニティ・スクールの取り組みが、さらに質的に充実した新しいコミュニティ・スクール(コミュニティ・スクール2.0)へと進化する段階に入っているというお話とともに、全国のコミュニティ・スクールに向けて応援のメッセージをいただきました。

第2部の分科会では、全国の学校や市内の各学園が参加し、それぞれのテーマに沿った実践事例やCS委員会による熟議の取り組みを発表し、有識者から助言をいただきました。

このフォーラムは全国から延べ1,900人を超える方にご参加いただき、これから進めるスクール・コミュニティの実践に向けた契機となりました。

なお、当日配信した動画などについては、三鷹市教育委員会公式YouTubeチャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。



⇒教育政策推進室 ☎内線 3221



分科会の様子

分科会① 実践事例発表

テーマ・発表者	助言者
社会に開かれた教育課程の実現に資するコミュニティ・スクール(三鷹の森学園ほか)	国立教育政策研究所長 浅田 和伸氏
地域の課題解決に資するコミュニティ・スクール(鷹南学園ほか)	元国立教育政策研究所長 常盤 豊氏
これから始める・継続していくコミュニティ・スクールづくり(富山県朝日町教育委員会ほか)	東京大学名誉教授、放送大学特任教授 小川 正人氏
これまでの取組を生かした持続可能なコミュニティ・スクールづくり(にしみたか学園ほか)	千葉大学名誉教授 天笠 茂氏

分科会② CS委員会による熟議の取組発表

テーマ・発表者	助言者(文部科学省CSマイスター)
子どもに身に付けさせたい力、子ども自身が身に付けたい力(東三鷹学園:CS委員と子どもの熟議)	NPO法人まちと学校のみらい代表 竹原 和泉氏
地域資源の活用等(おおさわ学園:CS委員の熟議)	杉並区立天沼小学校学校運営協議会 会長職務代理者 井上 尚子氏
パワーアップアクションプランの改訂(三鷹中央学園:教員とCS委員との100人熟議)	栃木市地域政策課栃木公民館係 社会教育指導員 鈴木 廣志氏
子どもが考えるこれからの連雀(連雀学園:子ども熟議)	ふじみ野市立大井小学校長 朝倉 美由紀氏

学園長に聞く!

「鷹南学園」自慢の取り組み

鷹南学園
(第五中、中原小、東台小)



ないとうかずみ 内藤和巳 学園長 (中原小学校長)

きょうだい学年交流



きょうだい学年交流の様子

鷹南学園の子どもたちは、小学校に入学する前に学校を案内してくれる5年生のお兄さん・お姉さんと、彼らが中学校を卒業するまでの5年間、「きょうだい学年」として交流します。そして5年生になると、5歳年下の子どもたちとの交流が始まります。小・中一貫教育ならではのこの取り組みで、上級生には目に見えて成長した姿が見られ、下級生は上級生に憧れ、中学校生活への見通しをもって進学できるようになりました。

学習指導の充実

令和3・4年度は三鷹市教育研究協力校として、3校の教員が合同で、教科の本質や小・中学校の指導内容の系統性について研究するとともに、全ての教科について効果的な小・中相互乗り入れ授業のあり方を検討しています。

今年度は、CS委員会と中原小・東台小の教員の協働による総合学習授業を開始しました。両校の3年生が自分の学校や地域の良さについて、地域の方のお話を聞きながら探究学習を進めており、今後、学習の成果を発表し合う予定です。

地域での体験的な学習

地域の文化祭「鷹南祭」では、中学生が模擬店を出店します。何を売ったら小学生が喜ぶか、いかに売り上げを伸ばすかなどを主体的に考えるために、五中おやじの会の皆さんがサポートしてくれます。鷹南っ子の教育目標である「ジャンプアッププラン」に掲げる「挑戦心、やりとげる力、協働する力の育み」を地域の力で実践している取り組みの好例です。



模擬店で販売する中学生

卒業後もつづくコミュニティ

保護者OBにより設立された「鷹南倶楽部」が主催する夜の公園での野外映画祭やまち歩きなどの行事は、今では地域のつながりと絆を深める多世代交流の場としてしっかり根付いています。まさに「スクール・コミュニティ」です。これからも、保護者や地域の方とともに子どもたちを育みながら、学校を縁とした鷹南コミュニティの裾野が広がっていくことを願っています。

移動図書館ひまわり号が市内を巡回しています

新規ステーションを設置しました!

令和4年1月7日から、「北野情報コーナー」にひまわり号の新規ステーションを設置しています。

★北野情報コーナーステーション(北野三丁目2番8号)
※自動車での来場はご遠慮ください。

◆巡回日時
隔週金曜日の午後3時～4時
※北野情報コーナーステーションの設置により、1月7日から三鷹台団地ステーションの巡回時間が変更になりました。(隔週金曜日の午後1時30分～2時45分)



臨時ステーションに巡回しています!

はなかいどうステーションは、施設の大規模改修工事に伴い、令和4年5月26日(休)まで休止しています。この期間、臨時に「牟礼団地」に巡回ステーションを設置しています。

★牟礼団地ステーション(牟礼六丁目23番)
◆巡回日時
隔週木曜日の午前9時30分～11時



移動図書館ひまわり号では、図書の貸出、返却、予約本受取などのサービスを実施しています。詳しい巡回日時は、市立図書館ホームページなどをご覧ください。

⇒三鷹図書館(本館) ☎43-9151



川上郷自然の村のご紹介

川上郷自然の村は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら営業しています。近隣でスキーなども楽しめます。冬の思い出作りにぜひご利用ください。

【宿泊料金】大人3,700円から、小学生2,500円から(1泊2食付き)
宿泊希望日の3日前までに、電話・FAX・川上郷自然の村ホームページでお申し込みください。

三鷹市川上郷自然の村
〒384-1406 長野県南佐久郡川上村大字原591番362
☎0267-97-3206 FAX0267-97-3207
HP <http://www.sizennomura.jp/>



紹介したホームページなどは、記事内の二次元コードからもアクセスできます。